

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第9号
受 理 年 月 日	令和2年11月19日
件 名	政府に対し「核兵器禁止条約」の署名・批准を求める意見書を送付することを求める請願
請願者の住所及び氏名	桐生地区国民大運動実行委員会 代表 大木 俊一 事務局:東毛民主商工会
請 願 の 要 旨	<p>【請願趣旨】</p> <p>10月24日核兵器禁止条約の批准国が50カ国に達し、来年1月22日にこの条約が発効される。核兵器を国際的に違法化するこの条約は、被爆者が心待ちにし、世界が待ち望んでいたものである。</p> <p>しかし、核兵器保有国と同盟国は「世界の安全を脅かす」などとして禁止条約に反対し、妨害してきた。</p> <p>日本政府は、唯一の被爆国でありながら、核保有国と非保有国との「橋渡し」するとして、米国の核兵器に依存する「核の傘」政策をとり続けていることは誠に残念である。</p> <p>1954年の米国の水爆実験を機に、核兵器廃絶を求める署名運動が展開され、今日の原水爆禁止世界大会の開催に至っている。</p> <p>核兵器禁止条約の発効にあたり、核兵器のない世界の実現に向けて、以下の請願をする。</p> <p>【請願事項】</p> <p>1. 非核平和都市を宣言している桐生市の議会として、日本政府に対し「核兵器禁止条約」に署名し、批准を求める意見書を送ってください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
紹 介 議 員	関口 直久、渡辺 恒
付 託 委 員 会	総務委員会
審 査 結 果	